

【第 6 回策定委員会等での意見および対応】

（１）第 6 回策定委員会での意見

【将来の都市構造】

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
委員	本計画の将来都市構造と第6次草津市総合計画の将来のまちの構造図との整合を示した表について、本計画の地域再生核を除いているが、追加した方が良いのではないか。	◇整理方法として、第6次草津市総合計画に無いものは表記しなかった。御意見を踏まえ、本計画の特徴ということで地域再生核を追記させていただく。	◇p.32 の「第 6 次草津市総合計画 将来のまちの構造図との整合」について、地域再生核を追記しました。

【分野別方針】

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
委員	安全・安心の方針のライフラインの耐震性向上について、「電気・ガス・上下水道管等の耐震性向上」と修正されているが、上下水道の更新のタイミングで耐震化されると思うので、更新と耐震化を紐づけて書いた方が良くはないか。	◇御指摘の通り、更新と耐震化が上手く紐づいていないと感じた。耐震化は安全・安心の方針、更新は住宅・住環境の方針と分けていたが、御意見を踏まえ記載内容を検討させていただく。	◇p.52 の安全・安心の方針について、「電気・ガス・上下水道管・通信施設等の更新に合わせた耐震補強」として、更新と耐震化を紐づけました。p.58 の住宅・住環境の方針については「上下水道施設の効率的な維持管理および普及促進」としました。
委員	安全・安心の方針のライフラインの耐震性向上について、インフラとして情報通信を追記するべきではないか。	◇道路・交通の方針に関しては「ICT の活用」を記載しているが、それ以外では示していない。経営戦略課が情報通信に関する市の取り組みを考えていくが、「ICT の活用」を都市づくりの理念として示しており、都市計画マスタープランの中でも今後の施策を含めて考えていく必要があると考えている。	◇第6次草津市総合計画に該当する記述がなかったため、変更なし。
委員	最上位計画である第6次草津市総合計画の記載を確認して検討していただきたい。		
委員	安全・安心の方針について、安全に避難できる避難所の整備を推進するとあるが、南笠東学区には避難所が2ヶ所しかない。一方で、隣の玉川学区は幼稚園から小学校、高校等たくさんあるため、避難所の数の調整が必要だと思う。また、先日初めてハザードマップをいただいたが、避難所指定されている南笠東まちづくりセンターが狼川の冠水エリアの中心にあり危険である。	◇平地河川化がまだまだできておらず、草津川や狼川、十禅寺川は懸案事項として残っているが、毎年滋賀県に重点要望しており、滋賀県が優先順位を付けて現在は十禅寺川の平地河川化を進めていただいている。治水対策の推進として河川改修の推進を掲載していることについて御理解いただきたい。 避難所について、指摘いただいた通り、地域の公共施設を中心に避難所を指定しているため、地域によって避難所数が少ないところもある。南笠東学区に住んでいるから南笠東学区の避難所にこだわるのではなく、隣接する他の学区の施設にも柔軟に対応いただけるよう、地域の皆さんと作っているハザードマップの中で整理していきたい。 ◇今の流れとしては流域治水ということで考えていく必要があるため、安全・安心の方針の前段のところに、流域治水について記載させていただきたい。	◇p.24 の都市づくりで重視すべき課題について、(6)自然災害に滋賀県や近隣市と連携した流域治水について追記しました。また、p.52 の安全・安心の方針について、「あらゆる既存施設を活用した流域治水の推進」と流域治水について追記しました。
委員	地域別構想について、東部丘陵地域は洪水及び内水による5m以上の浸水深が想定されているとあるが、治水対策は河川改修や雨水排水能力が主であり、対策として不十分なのではないか。		
委員	国土交通省が推奨している流域治水という言葉を入れておくと、国の流れに沿うこともでき御指摘のあった問題にも対応できるのではないか。 自治会の防災部長をしているが、避難所が足りないという課題があり、緊急的に流域にあるホテルの一部を借り上げて避難所にすることは可能かということ市役所に相談したりしている。都市計画マスタープランにどこまで書くか匙加減が難しいが、従来のハード対策に加えてソフト対策も進めていくという総合治水と流域治水についての課題を書いていただけると良いと思う。		
委員	草津市には新住民の皆さんがかなり多くなっており、水害に対して脆弱な地であることを認識されていない市民もいるため、注意していかなければならないということを認識していただくことも含めて、流域治水という言葉を入れると良い。		
委員	他地域の過去の事例によると、避難所としては屋寝用の寝具等を備えている保育園や畳のある寺が避難者の負担が少なく有効であったとされているため、都市計画マスタープランには書きづらいかもしれないが、小学校等以外の避難所も採用できるよう柔軟に書いていただけると嬉しい。		
委員	あらゆる既存施設の活用という姿勢を適切な場所に記載していただきたい。		

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
委員	まちづくり協議会単位で地区防災計画の作成を進めているが、新型コロナウイルス感染症に関する修正も加えながら、想定される災害に対して避難所に集まってくる人数に応じて対応できるよう順次計画づくりを進めていく必要がある。	◇記載内容について危機管理部局と調整していきたい。	◇都市計画マスタープランとしては、変更なし。
委員	以前、福祉施設に避難所になれるかというアンケートがきたことがあるが、本計画に記載する避難所は公共施設に絞らなければいけないのか。避難所について、民間の施設も活用するということを追記してはどうか。	◇非常に大事な視点であると思う。コロナ禍で人数制限等の課題も見えてくるため、従来の避難所だけでなく色々な施設を地域で活用していくという話もいただいていたので、安全・安心の方針には「誰もが利用しやすい避難所としての公共施設のバリアフリー化等の環境整備」と整理しているが、「等」の言葉の中に委員の発言も込めさせていただく。	◇変更なし。
委員	草津市においては南北方向に大きな幹線道路や新幹線が走っており、河川が東西に流れているため、河川改修と道路整備を調整する必要がある。本計画に記載する必要はないが、河川改修と道路整備は密接な関係にあるということを共通認識として持つことが大切である。	◇意見として承る。	◇変更なし。
委員	道路・交通の方針に道路附属物の整備とあるが、道路附属とは何か市民に伝わりづらいのではないか。	◇伝わりづらいと思うので、前段に道路附属物の例示を挙げるなど分かりやすく変更する。	◇p.46 の道路・交通の方針について、「円滑な交通の確保に向けたカーブミラーや防護柵等の道路附属物の整備」と修正しました。
委員	住宅・住環境の方針に「長期優良住宅の供給促進」とあり、必要なことは分かるが都市計画マスタープランに書く意味はあるのか。	◇草津市は、戸建て住宅だけでなく分譲マンション等の更新の時期になる。マンション対策について議会で厳しい意見をいただいております、建替え更新等の問題については今後議論して整理していくため、次の施策につなげるためにも本計画に位置付けている。	◇p.57 の住宅・住環境の方針について、「長期優良住宅等の良質で安全な住宅の供給促進」と修正しました。

【地域区分】

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
委員	地域別構想の地域区分について、アンケートやワークショップの結果を見ると、老上西学区が西部湖岸地域の他の学区と結果がかなり違っているように見える。ヒアリングをした結果、地域区分の見直しをすることは考えられなかったのか。	◇西部湖岸地域については、老上西学区には大きなショッピングモール等があるが、その他の学区にはないため、市民のニーズが違う部分もある。地域の皆さんからいただいた意見を踏まえて地域に地域別構想案をお示しし、西部湖岸地域として土地利用を考えていきたいということについて一定の御理解をいただけている。	◇変更なし